

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
老年看護学概論	1単位(30)	1年次 6月	専任教員	あり(看護師)

科目目標:

1. 高齢社会の医療・保健・福祉の現状を理解する。
2. 高齢者の生活と高齢者の家族を理解する。
3. 高齢者保健医療福祉施策、高齢社会における課題を理解する。
4. 加齢に伴う変化、高齢者の健康のとらえ方を理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 老年期にある人の理解 (1)老年期の定義 (2)老年期の発達課題、老年看護に関わる理論・概念	講義	専任教員
2回	2 高齢者の多様性(生活史を通じた理解) (1)時代背景、価値観、生活習慣、生活様式の多様性	講義	
3回	3 加齢変化と老化 (1)加齢に伴う変化の特徴①	講義 演習	
4回	(2)高齢者の日常生活の体験:高齢者疑似体験	演習	
5回	(3)加齢に伴う変化の特徴② ①身体的・精神的・社会的機能の変化	講義	
6回	4 加齢に伴う変化と生活の影響 (1)高齢者を取り巻く社会環境①	講義	
7回	(2)高齢者を取り巻く社会環境② 現状と課題	講義	
8回	5 高齢指標からみた高齢者の理解 (1)有病率・有訴者率・通院率 (2)受療行動と受療率 (3)平均寿命と健康寿命 (4)主要死因・死亡率・死亡場所	講義	
9回	6 高齢者にとっての健康 (1)老年期の健康のとらえ方 (2)生きがいと生活の満足度 (3)高齢者の健康問題(フレイル・サルコペニア 他) (4)健康の保持増進のための取り組み	講義	
10回	7 高齢者の暮らし (経済状態、住まい、就労、雇用、社会参加) 8 高齢者と家族機能の変化	講義	
11回	9 高齢者の生活を支える施策 (1)保健医療福祉制度の変遷 (2)介護保険制度の概要 (3)高齢者の多様な生活の場	講義	
12回	10 高齢者の地域での暮らしを支える (1)介護保険関連施設の特徴と看護	講義	
13回	11 老年看護活動の特性 (1)老年看護の特徴	講義	
14回	12 老年看護における倫理的課題 (1)高齢者の尊厳と権利擁護 (2)高齢者差別、自己決定、高齢者虐待、身体拘束 (3)権利擁護のための制度(成年後見制度・日常生活自立支援事業)	講義	
15回	修了認定試験:筆記試験 100点、 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会編		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
高齢者の日常生活援助技術	1単位(30)	1年次 9月	外部講師	あり(看護師)
			専任教員	あり(看護師)

科目目標:

加齢変化に応じた高齢者の生活援助技術を理解する

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 高齢者のコミュニケーション (1)高齢者とのコミュニケーションとかわりかたの原則 (2)コミュニケーション能力のアセスメント (3)高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法	講義	専任教員
2回 3回	2 高齢者の活動拡大への援助 (1)活動と休息への援助技術 ① 活動の拡大に向けてのアセスメント ②活動の拡大に向けての援助 ③休息への援助	講義	
4回	3 転倒予防の援助技術 (1)転倒のアセスメントと看護 (2)廃用症候群のアセスメントと看護	講義	
5回	4 生活リズム (1)高齢者と生活リズム (2)高齢者に特徴的な変調	講義	
6回	5 転倒予防 麻痺のある患者の車椅子移乗	校内実習	
7回 8回	6 皮膚・粘膜の機能を高める援助技術 (1)清潔の意義 (2)高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題 (3)清潔のアセスメント (4)清潔の援助	講義	専任教員
9回 10回	7 おむつ交換・陰部洗浄 臥床患者のおむつ交換・陰部洗浄	校内実習	専任教員 外部講師 (看護師)
11回 12回	8 高齢者の食生活 (1)高齢者における食生活の意義 (2)高齢者に特徴的な変調 (3)食生活のアセスメント (4)食生活の支援	講義	専任教員
13回	9 高齢者の排泄 (1)高齢者の排泄ケアの基本 (2)排尿障害のアセスメントとケア (3)排便障害のアセスメントとケア	講義	
14回	10 口腔ケア 麻痺のある患者の口腔ケア 義歯の取り扱い	校内実習	専任教員 外部講師 (看護師)
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 看護実践のための根拠がわかる 老年看護技術 メヂカルフレンド社		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
高齢者の健康障害時の看護	1単位(30)	2年次 4月	外部講師	あり(認定看護師) あり(看護師)
			専任教員	あり(看護師)

科目目標:

1. 高齢者に多い疾患の理解と健康障害に応じた看護について理解する。
2. 人生の終焉を迎える高齢者の支援と看護について理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 健康障害のある高齢者の理解 (1)高齢者に起こりやすい疾病の特徴 (2)高齢者に多くみられる症状と現れ方 (3)高齢者の健康アセスメントと観察の視点	講義	専任教員
2回	2 高齢者に特有な症候・疾患・障害に応じた看護 (1)感覚器の疾患 (2)骨粗鬆症 (3)骨折	講義	
3回	(4)低栄養状態 (5)皮膚の障害(掻痒)	講義	
4回	(6)脱水症 高齢者の脱水の特徴、治療、看護	講義	
5回	(7)パーキンソン病・パーキンソン症候群 パーキンソン病の診断、治療、看護	講義	
6回	(8)うつ・せん妄 高齢者のうつの特徴、治療、看護	講義	
7回	(9)認知症① 認知症の病態、症状、治療	講義	
8回	(10)認知症② 認知機能評価、看護	講義	
9回 10回	(11)褥瘡 褥瘡予防、褥瘡の評価、治療、看護	講義 演習	外部講師 (認定看護師)
11回	(12)経鼻経管栄養 胃管挿入、確認、固定 栄養接続、注入、終了後の確認	校内実習	専任教員 外部講師 (看護師)

授業回数	授業計画	授業方法	講師
12回 13回 14回	3 急性期の高齢者の特徴 (1)急性期の高齢者の特徴 (2)手術療法を受ける患者の援助 (3)手術療法以外の急性期高齢者の援助 4 慢性期の高齢者の特徴、援助 (1)慢性期高齢者の特徴 (2)慢性期高齢者の援助 5 回復期の高齢者の看護 (1)回復期の高齢者の特徴 (2)生活機能の維持と向上 (3)リハビリテーションを受ける高齢者の援助 6 終末期の高齢者の看護 (1)身体兆候のアセスメントと援助 (2)苦痛の緩和と安楽への援助 (3)精神的苦痛や混乱に対する援助 (4)臨死期の評価と援助 (5)家族参加と家族への援助 (6)グリーフケア 7 外来受診時の高齢者の看護 (1)外来受診時の高齢者の特徴 (2)診察時の援助 (3)疾患・治療の理解と治療継続への援助 8 検査を受ける高齢者の看護 (1)安全・安楽な検査の実施 (2)加齢による検査結果への影響 9 薬物療法を受ける高齢者への援助 (1)加齢に伴う薬物動態への変化 (2)服薬管理とリスクマネジメント	講義	外部講師 (看護師)
15回	修了認定試験:筆記試験 100 点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
高齢者の看護過程	1単位(15)	2年次 4月	専任教員	あり(看護師)

科目目標:

高齢者の特徴を踏まえ生活機能の観点から看護過程を展開する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師	
1回	1 高齢者の特徴と健康障害を踏まえた各領域の情報の整理 (1)加齢変化 (2)今までの日常生活状況、生活習慣 (3)身体機能・予備力(運動・生理機能) (4)家族背景・役割 (5)価値観・健康の認識 (6)心理状況 (7)知覚・認知・コミュニケーション能力	講義	専任教員	
2回	2 高齢者の特徴や加齢変化を踏まえての健康状態の分析・解釈 (1)加齢変化および疾患の日常生活活動への影響 (2)高齢者の身体・心理・精神的側面へ着目したアセスメント (3)家族の介護状況 (4)二次障害、合併症の危険性	講義 演習		
3回 4回	3 領域アセスメントからの看護診断および診断指標・関連因子・危険因子 (1)関連図 (2)診断の根拠 (3)看護診断(確定診断) (4)診断リスト (5)長期目標 (6)期待される結果	講義 演習		
5回 6回	4 看護介入計画の立案 (1)日常生活の自立能力を高める計画 (2)活動耐性を考慮した計画 (3)二次障害の予防 (4)介護家族への支援計画	講義 演習		
7回	5 看護介入計画立案後の評価 (1)中間評価 (2)最終評価 (3)総合評価	講義		
8回	修了認定試験:筆記試験 75点、レポート 25点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 参考図書 ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 医歯薬出版			